

## 記述白紙少年・少女のための記述法

### 第一回

みなさん、あけましておめでどう。しらくまは、次には、合格おめでどう、と言いたいと思っています。あと少し、いろいろたいへんなこともあるだろうけれどがんばってね。この時期、もうお母さんやお父さんとケンカしたらだめだよ。ついついムカつく話もされてしまうかもだけど、きみに合格してほしいから、ついつい大人は口うるさくなっちゃうんだ。少々、腹が立つことがあっても気にならないくらいに「心のゆとり」がある人が入試には強いんだよ。あと2週間、しっかりと、最後まで粘って勉強してね。

さて、国語が苦手で、どう書いていいかわからない、どこから探していいかわからない…と、困っている子はいないかな？ どうせダメだと思わないで、ちょっとしらくまの話を読んでみてね。説明的文章で、よく「筆者の言いたいことを書きなさい」という問題あるよね。すっごいことを言うと、その文章まるまる書いてしまえばいいんだよ。ぜくんぶ写して書きちゃう！ えく 何を言っているのしらくまさんっ！ ふざけないでよ！ と、怒られちゃうよね。でも、筆者は、「それだけ」のことを言いたいから「それだけ」の言葉を使っているんだ。だからほんとは、「ぜくんぶ」書くのが正解！ところが入試ってむちゃくちゃでさ、そんな筆者を無視して、かっつに「言いたいこと」を書け、と、問題を作っているんだよね… ちょっと筆者がかわいいそうでしょ？

それに、きみも「めんどくさい」よね… 全部書いているヒマもなければ書くところもない…どくしても、どこから切り取らないといけない… どこを切り取るのがよいか、そして、どう切り取るとよいか… ここがポイントなんだよね。

さて、次の文章を読んでみてね。

マザー・テレサの生き方と信仰の矛盾などは、私に比べたら何のほどのこともない。私が一人の人間の無力を痛感してあせっている間に、マザー・テレサはたった一人でどんな世界を変えていく。わたしがもつ力と才覚があればと思っている時、マザー・テレサはあるがままの力と才覚を活かして、その場その場でできることを実行する。マザー・テレサは私を悩ませ、苦しめ、私は自分がどんなに小さな人間かを思い知らされる。いったいマザー・テレサは私の持っていない何を持っているのだろうか？

もし、この世の人の善意によって真の平和が実現するとしたら、それはマザー・テレサのような女性のおかげだと思う。平和は願うものではない。自分たちで作り出すものである。平和は行いであり、人のあり方である。平和とは与えることである。

さて、この文章で筆者の言いたいことをまとめてみよう、という問題があったとします。さて、きみならどう書くかな？

説明的文章は、基本的には

「例」を用いて「意見」を書く

なんだよ。この場合はあきらかに「マザー・テレサ」を「例」にして、意見を述べていることになるよね。実は、かんたんな「引き算」だって、気が付くかな？

説明的文章Ⅱ例十意見 意見Ⅱ説明的文章Ⅰ例

じゃあ、例を全部消してしまえば、残りは「意見」だ！ 「上の文章」を全部書きたいけど書けない、じゃあ、例の「マザー・テレサ」とそれが含まれている文をぜくくんぶ、鉛筆で線を引いて消してごらん。残った文はすべて意見だよ。ね。すると

「平和は願うものではない。自分たちで作り出すものである。平和は行いであり、人のあり方である。平和とは与えることである。」

が、残るよね。どうも「意見」っぽいよね。

ところが実際は入試では、40字以内で書け、とか、30字以内でかけ、とか、さらに「切り取る」ことを要求されてしまう…

あのさ、たとえば、誕生日のプレゼントにほしいものは何？とか、言われて、きみはすぐにほしいもの、言えるかな？ また、今夜の夕食は何が食べたい？とか言われて、すぐに食べたいのが思いつくかな？

「うくん、わたしは、プレゼントは、くまさんのぬいぐるみがよい」

とか、言ったとしよう。で、買ってきたのが「しろくま」だったとする。

「えー、ちがうよ、しろくまじゃなくて、なんかもっとこう、ふつーの茶色いくまさんっ！」

と、言う場合、あるよね。

「うくん、何か温まる食べ物がいいな」

とか、言ったとしよう。で、出てきたのが「カレー」だったとする。

「えー、ちがうよ、そういう意味じゃなくてえー、鍋物とか〜！」

と、言う場合、ないかな？

「主張」とは、何かを否定して何かを出してくるもんなんだ。

AではなくてBだ！

筆者の「もっとも言いたいこと」とか、とくに「何やら意味ありげに」「もっとも」とか付いている場合は、「主張」の形がいいんだよ。だから、記述するときは、「AではなくてBだ」とまとめるとうまく書ける。

この文章の場合なら、もうわかったよね？

「平和は願うものではない、自分たちで作り出すものだ」

が、「主張」になるんだよ。

「平和は行いであり、人のあり方である」「平和とは与えるものである」も、よさそうだけれど、どうしてこっちが解答なんだっ！？と、思うようなときは、たいていこの「公式」でまとめたものが正解だ。

マザー・テレサさんは、平和を「作り出す」ことに努力された人、それにくらべて、わたしは、あるいはみんなは「願っている」だけだろ？ そんなんじゃないだめなんだよと、筆者は考えているんだよね。

お笑いが好きな少年・少女は、実は、国語の記述は得意なはずだよ。だって、筆者はまずは「ネタをふって」、で、話を続けて、「オチ」に持ち込むんだから、お笑い好きは、そのところをわからないとだめだよ。お、こいつは何を言いつすんや？が、例の部分、で、さんざん持ち上げといて、どっかで落とす：ようするに「オチ」を説明したら「筆者の言いたいこと」になるんだよ。

「言いたいことをまとめなさい」という問題を選んで、ちょっといろいろやってみてね。

① 意見II説明文一例

② AではなくてBだ

で、いちど考えてみよう〜

## 第二回

さて、お母さんに「なんで書かないのよ！ 白紙じゃ点にならないじゃないの！」と、怒られた子、いるよね〜「そんなん言われてもわかかんもんはわからん！」「問題の意味すらわからんのじゃ！」「何をどうかけっ ちゅーねんっ」となっちゃうよね：すべての問題の場合ではないけれど、「こういう場合は、こうしたら答えになりそうなどころみつかるよ」という方法を今回は一つ紹介しますね。

まず、次の文章を読んでください。

「以上のような認識に基づけば、ネット・コミュニケーションで受けた想定外の誤解を必死になって弁解するのは、多くの場合は無意味だと分かるはずだ。意図的に相手を傷つけるつもりで書いた文章ならともかく、明らかに悪意のない文面に対して、見知らぬ他人からあれこれ不快感を抱かれたとしても、それは「誤解」というよりも、実際は「曲解」という種類のものだ。受信者側が曲解によって、勝手に増幅させた不快感まで、発信者側が説明責任を負う必要はない。「誤解」は解く必要があるかもしれないが、「曲解」は放っておくしかない。そのあたりを平然と割り切っておかないとネットで神経を潰（つぶ）されてしまった犠牲者リストに名を連ねることになる。」

問 傍線以下の文で、「ネットで神経を潰されてしまう」のはどのような時だと筆者は考えていますか。本文の内容をふまえて70字以内で答えなさい。

え… なんか難しい説明… 単語が難しくくて意味不明… しかも70字… ぶりぶりぶりぶり！

と、考えてしまわないかな。たしかにこれは大人向けの文章だけど、実際の中学入試で出たんだよ。でもね、しろくまなら、これをみた瞬間、ラッキョウ 答えになる部分、みつげやすい！と、喜んでしまいます。

**下線部の中に指示語があったり、下線部を伸ばして指示語があれば、その指示語のさす内容を利用せよ！**

「そのあたり」って書いてあるよね。どのあたりか？

「勝手に増幅させた不快感まで、発信者側が説明責任を負う必要はない」というあたりにくるよね。

「誤解は解く必要があるが曲解は放っておくしかない」わけだ。

でない「潰される」というているわけだから、ひっくりかえずと答えになるよね。

「受信者が勝手に増幅した不快感に説明の責任を感じてしまう」のが「潰される」ことになる。

こういう解き方を「反転法」っていうんだよ。

「神経を潰される。とはどういうことか」と言われたら「神経を潰されない説明をしている部分を抜き出し」その表現を逆にする。

「必死になって弁解するのは、多くの場合無意味とわかる」と書いてあるから

「無意味とわからず必死になって弁解してしまう」というようにひっくりかえず。

どうか？下線部の中、あるいは延長線に指示語があれば、その指示語がさす部分の言葉を用いて、場合によっては

「反転法」でまとめる！

自分で考えないで、文中の言葉を利用することを考えればよいのだよ。

### 第三回

物語文の問題で、もっとも多いのが、「下線部①の×××にはどのような気持ちがあらわれていますか」というものです。えー そんなん言われても… 「うれしい」「悲しい」「残念」なんかはだいたいわかるけど… そんなんだ書いてもだめですよね：それだけわかれば、もう、書けたも同然ですよ！

中学入試で出題される物語文の場面はほとんどが「主人公の心情が変化する」というものです。しろくまの、物語文の読解法は

A ↓ B

→

C

A：最初の気持ち B：後の気持ち C：気持ちを変えたモノ・コト

です。ウソだと思うなら、志望校の過去問をみてごらん。たいていは主人公が何かをきっかけに変わる、という場面ばかりだから。たとえば、「この場面に題名をつけると何ですか？」という問題みたことないかな？

☆ 物語の場面の題名は「C」⇨「気持ちを变えたモノ・コト」

あらすじなんか、A B Cで書いたらそれでオッケー！

☆ 「主人公はAだったが、Cによって、Bになりました」

で、だいたいまとまるよ。

で、「下線部にはどのような気持ちがありますか」

も、この流れで書いたらたいはオッケー。もちろんあてはまらない場合もあるけれど、ぜんぜん何書いていいかわからなくい、という場合はこれでまとめてみようよ。

☆ 「AだったのにCでB」

で、Bには「がっかりした」とか「うれしくなった」とか、きみがだいたいこうかな、と思った気持ちを書いておけばそれでよし。

一度、過去問でためしてみよ。女子なら親和中・甲南女子中・神戸海星中の問題も、だいたいこの「型」がハマる問題も多いし、京都の洛星、大阪の星光なんか、物語文の出題があるけれど、このパターンで答えを作れるよ。国語が苦手志望校を替えるときには最適だ。白紙では点数がもらえない。さっぱりわからないときはこれでまとめてみよう！

「指示語」の問題、よく出ます。「これ」「それ」「あれ」。ちょっと注意点を二つ。一つはめったに出ないけど、高校入試などではよく出るもので、

**指示語は前だけをさすとは限らない**

「…ただ、こういうことはいえる。海の中にいるものがすべて魚類とはかぎらない。」

補足説明として、「こう」は後ろに指示内容を持つ場合があります。もともと指示語は精神的な距離を示します。「あれ」「それ」「これ」としだいに接近してくる：「あれ？」という感動詞も、もともと指示語の「あれ」から転じたもの。精神的に遠い、理解できない、何だろう？ 「あれ」となったわけです。女の人の悲鳴も「あれ〜」とかあるけど、正体不明、説明しがたいものに対する表現なんだよね。「これ」はたいへん近いもの。指示語の中でも、「これ」「こう」「ここ」は後ろに指示している語がくる場合がけっこうあります。

さて、今回指示語の記述で注意しなくてはならないのは、

**文中の指示語はほぼ「抜き出し」**

**形式段落の頭にくる指示語は前の形式段落の要約**

という二点です。

ですから、形式段落の頭にある指示語は、その前の形式段落から「抜き出し」ではなく「要約させる」記述題と同じである場合がほとんどなので注意してね。もし、前の形式段落に「つまり」なんか書いてあると超ラッキー。

**形式段落の最初の指示語は、前の形式段落の要約語の後ろを指している**

ということがいえるからです。「指示語」の記述題のうち、形式段落の頭のものには要注意、と、おぼえておいてね。

#### 第五回

さて、学校によっては長〜い記述をさせるとこ、あるよね。自分が受ける学校は国語が長い記述題が出ていやだな、と、思っている子いるよね。今回は、要約する方法を、実際にちょっとやってみるね。まずは次の文章を読んでみてください。

「地球が誕生して四十六億年、生物が誕生して三十六億年、人類が誕生して十万年がたった。人類はその最後の一世紀で科学技術を大きく発展させ、生活スタイルを一変させた。

科学技術の発達により、人間は幸福になる。十九世紀までは素朴にそう信じられてきた。実際、電話の発明や医学の進歩によって、人々は大きな福利を得てきた。ところが二十世紀になってこの命題に疑問が持たれるようになった。原子爆弾の発明、原子力発電所の事故、酸性雨や大気汚染、地球温暖化にみられる環境破壊など、人間の造り出したものが人間をかえって不幸にする事態が発生している。

二十一世紀の科学のキーワードは、「生命」と「情報」だといわれる。人間の技術は今や生命の創造という神の領域にまで踏み込もうとしている。」

筆者の言いたいことをまとめなさい、という問題があったでしょう。さて、前に紹介したポイントをおぼえているかな？

#### 説明文・例Ⅱ意見

これをまずはざっくり頭に思い浮かべてね。

さて、今回は、次の作業の順をおぼえてもらいます。

- ① 「逆接語」や「要約語」の後ろを抜き出す。
- ② 指示語の指示内容を抜き出す。
- ③ 「は」という他と区別する副助詞を含む一文を抜き出す。

すると、①「ところが」がみつかるよね。その後ろに線を引いてね。次に②指示語を探し出してみると、「その最後の一世紀」「素朴にそう信じられてきた」「この命題に疑問」の3カ所があるよね。それぞれ何を指しているか、抜き出してみよう。

で、③「は」を含む一文を抜き出す。

- ① 「ところが」二十世紀になってこの命題に疑問が持たれるようになった。
- ② 「その」II人類が誕生して十万年たったトイウコト  
「そう」II科学技術の発達により、人間は幸福になる  
「この」II科学技術の発達により、人間は幸福になる
- ③ 「は」を含む一文  
○ 人類「は」その最後の一世紀で科学技術を大きく発展させ、生活スタイルを一変させた。  
○ 科学技術の発達により、人間「は」幸福になる。  
× 十九世紀まで「は」素朴にそう信じられてきた。  
× 実際、電話の発明や医学の進歩によって、人々は大きな福利を得てきた。  
○ 二十一世紀のキーワード「は」、「生命」と「情報」だといわれる。  
○ 人間の技術「は」今や生命の創造という神の領域にまで踏み込もうとしている。

×印は残しておいてもよいけれど、「までは」の「は」のように単語や指示語の直後にきていないものは外す、それから「電話」「医学」など「例」は消す、というようにしておこう。もちろん、使ってもよいよ。字数を増やすときにはこれを使い、減らすときはこれを切り捨てちゃうと調整がきくよね。

で、②指示内容を指示語に代入し、①③を組み合わせていく…

「十九世紀までは素朴に、科学技術の発達により、人間は幸福になる、と信じられてきたが、二十世紀になって疑問が持たれるようになった。二十世紀の科学のキーワードは「生命」と「情報」だといわれる。人間の技術は今や生命の創造という神の領域にまで踏み込もうとしている。」

どうかな、この方法を使うとけっこう「要約」できるでしょう？

前に「AではなくBだ」が主張だと言いましたよね。だとすると、逆接語の後が大切なポイントになります。「主張」でしぼると

- A 科学技術の発達により、人間は幸福になる。  
というのはまちがいで、
- B 人間が造り出したものが人間をかえって不幸にする。  
と、すると「主張」も浮かんでくるよ。

何を書いていいかわからない… というときは、とにかくこの方法で使える部分を抜き出してつないでみよう